1コリント9：15−18　　「すべては福音のために①」　　5/17/20

「キリスト者の自由」　1コリント10：23
ガラテヤ5：13
兄弟たち。あなたがたは、自由を与えられるために召されたのです。ただ、その自由を肉の働く機会としないで、愛をもって互いに仕えなさい。

1コリント9：15から、再び「報酬を得る権利」をパウロが行使しなかった理由を教える。
A. パウロの誇り　15節　　2コリント11：10

B. パウロの働き：パウロにとっての「福音宣教」とは？
1．自分を誇示するための道具ではない　16節
ガラテヤ6：14

2. 彼にとっての喜びである　16節
＊預言者エレミヤの祈り
エレミヤ20：9
私は、「主のことばを宣べ伝えまい。もう主の名で語るまい」と思いましたが、主のみことばは私の心のうちで、骨の中に閉じ込められて燃えさかる火のようになり、私はうちにしまっておくのに疲れて耐えられません。

＊パウロの証し
ローマ1：14
私は、ギリシヤ人にも未開人にも、知識のある人にも知識のない人にも、返さなければならない負債を負っています。

パウロは、もし福音を宣べ伝えないことが自分にとってどのようなものかを語った。
「私はわざわいに会います。」とは…

3．主から委ねられたもの　17節
●「報い」について　マタイ16：27、2コリント5：10
＊大切なことは、「自発的な心」で主に仕えているかどうか！
私たちの主も次のように教えたおられる。　マタイ6：1、2、5、16

＊だから心が大切である！　　2コリント9：7
●「務め」とは　　コロサイ1：25、エペソ3：2

●「<u>委ねられている</u>」とは　　1コリント4：1、2

4．主からの報酬である　18節
「報い」とは

ヨブ8：21
ついには、神は笑いをあなたの口に満たし、喜びの叫びをあなたのくちびるに満たす。

詩篇4：7
あなたは私の心に喜びを下さいました。それは穀物と新しいぶどう酒が豊かにあるときにもまさっています。